



吉田地区



8号

# 住民自治協議会だより

キャッチフレーズ：「人の和と 地域の輪もて 我が吉田」

・発行責任者 風間 政美 ・編集 吉田地区住民自治協議会だより編集委員会  
・事務局住所 長野市吉田3-22-41 ノルテナがの3F ・TEL&FAX 026-263-6224

## 住民自治協議会の活動と今後の課題

吉田地区住民自治協議会 会長 風間 政美

長野市は、時代の流れによって、市町

村合併が進められた結果、人口三万七千人、面積八百三十四・九㎓となり、立地条件は都市化した市街地から農村が点在する中山間地と生活環境や住民ニーズに大きな

差が出てきています。そこで、公平、公正な画一的な行政では対応しきれないことから「自分たちの地域は自分たちでつくる」という都市内分権を導入し、市内三十二地区に住民自治協議会が設立されました。吉田地区では、平成二十二年四月から区長会

や地区社協、地公連等十団体の事務や事業を、五部会九委員会で、各々担当して二年を経過し、三年目を迎える時期が迫ってきています。

各部会や委員会が実務的に取り組み、二年目となり各部署の努力によって、軌道に乗ってきていますが一部の部署において当面の人材が確保できない状況で、大変ご苦勞いただいている委員会もあります。

今後の吉田地区の主な課題を次にあげてみました。  
◇地震や台風等自然災害に対し機能的に活動できる防災体制を早急に備え、災害対策の確立が求められています。昨年八月には防災対策の推進母体となる「吉田地区自主防災会連絡協議会」を関係機関の協力を得

て設立しました。

◇現在の収入財源は、市からの交付金と各町負担金、繰越金等で固定し、各区の財政も大変厳しい情勢で、新規事業を企画しても財源確保が課題になってきます。

◇指定管理者制度は、市の施設を民間等の活力を活用して、市が運営管理を委託するもので、吉田地区では既に平成十八年から吉田児童センターの指定管理者として市から受託して、管理運営に当たっています。今後の課題として、市からは各市立公民館を各住民自治協議会に指定管理者として委託する方針が打ち出されています。

◇住民自治協議会の全体の運営をつかさどる事務局体制の整備と、会長や副会長の役員の負担軽減等のため、できるだけ早い機会に事務局長を設置することが必要となります。最近、地区によっては、役員の任期が一年というところも出てきています。

◇吉田地区の地域振興対策に係わることを担当する部署が必要だと思えます。

◇最近の社会情勢の変化によって、バス路線廃止やスーパーなど大型店志向により近隣の小売店が閉店し、高齢者や障がい者が交通難民とか、買い物難民と言われる問題にどう対処していくか、難しい課題であります。

### 第24回「吉田町青少年健全育成住民の集い」

一月二十九日(日)

会場 ノルテナがの

東部中吹奏楽部・演劇部、吉田小合唱団・4年有志の学習発表、湯谷小マーチングバンド、読み聞かせも加わって多種多様な舞台上に満員の客席から惜しみない拍手が送られた。

子ども達の頑張りに「ありがとう」「この輝きをずっと守れる吉田でありたい！」(青少年委員会)



吉田小4年有志「よさこいソーラン」

東部中吹奏楽部



吉田地区自治協議会安全活動

安全・安心部会

防犯委員会

9月 吉田地区に多い自転車盗の被害防止を図るため、長水防犯協会の協力を得て、駐輪場に大型立看板を掲出しました。



目立つ大型立看板の設置で、自転車盗が減少しました。

10月

10月 全国地域安全運動の初日に長野中央警察署で行われた青色回転灯パトロール車の出発式に吉田地区内を巡回して防犯広報啓発活動を行いました。



警察署長の激励を受け、パトロールに出発

11月

11月 防犯指導員の安全活動能力など資質の向上を図り相互の連携を深めるため、区長部会と



次々と入ってくる110番通報を適格な指令で処理していく通信指令室の見学

合同で県警通信指令課と科学捜査研究所を見学し、研修を行いました。

12月

12月 年末特別警戒で多発している振り込め詐欺被害防止のため、年金支払日に金融機関入り口でお年寄りの来店者に、振り込め詐欺被害防止のチラシを配布しました。



金融機関出入口での振り込め詐欺被害防止活動

12月

12月 少年育成担当は、下半期は三回のパトロールを実施致しました。下校途中の小学生に声をかけをしたり、店舗では、最近問題がなかったかお話を聞いたり、成人



向け図書が区別されているかどうかを、チェックしたりしていません。店舗の皆様には日頃ご協力を頂き、ありがとうございます。

交通安全委員会

9月

9月 秋の全国安全運動の期間中、交通安全協会吉田支部会員は、連日交差点で高齢者と子どもの交通安全指導を行いました。



環境美化部会

10月

10月 先進地モデル事業所の視察研修実施 環境美化部会では、10月にごみ処理の先進地として栃木市の(株)関東エコリサイクルと埼玉の(株)関東エコリサイクルと埼玉を視察しました。

(株)関東エコリサイクルでは、火や洗浄等の水は、一切使用していないと

1月

1月 吉田地区花いっぱい運動 花づくりを通して地域の皆さんがつながりを深めると共に、美しい町づくりを進めることで自分たちの地域に愛着を持つことができるとの願いを込め、今年度も吉田地区花いっぱい運動を推進してきました。それらを審査基準に基づき、風間住自協会長他七名の審査委員による厳正な審査の結果、次の地区の受賞が決定され、一月十八日に表彰式を行いました。

最優秀賞 中越

最優秀賞 押鐘・田町



最優秀賞 中越地区

花いっぱい運動の心は、町を単に花で飾るばかりでなく、清掃をして身近な環境をきれいにする運動、川をきれいにする運動へとつなが



り、そして、吸殻、ごみを散らかさない町になっていくことです。そんな花いっぱい運動を今後も大勢の皆さんの参加で推進していきましょう。

### 福祉・保健部会

#### 福祉委員会

「福祉自動車大いちよう号」は昨年十一月一日より運行を開始しましたが、一月末までの三ヶ月間で二百五十一回余のぼり一日平均四〜五回、多い日は十回を超えようとしています。

10月

また、福祉バザー収益金の一部を福祉自動車へ寄付していただきありがとうございます。



10月22日 福祉バザー  
(東急ライブわいわいドームにて)

さて、三年計画で進めてきました「吉田地区地域福祉活動計画」が冊子となり皆様にお届けすることとなりました。今後はこの計画に基づいて福祉の充実を図っていきますが、これからも皆様方のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

11月

昨年東日本大震災等日本中が災害があり大変な年でした。視覚障害をお持ちの堀越吉晴氏より「共震の心」と題し講演をしていただきました。堀越氏が考える



11月21日 堀越氏の講演

共震の心とは、被災者がいて、私達もいて、励ますのでなく皆で揺れ動く心：今の日本人全員に必要なことのように思うそうです。また、障害者は災害弱者のため情報がわからない。情報がわからないということ、周りの人にわかってもらいたい。これは高齢者にも通じることでもあります。今後は、「地域の中で顔が見えるコミュニケーションが大切である」ということを教えていただいたように思います。

#### 保健委員会

9月

保健委員会では、昨年度より「環境と健康」をテーマに学んでまいりました。

保健センター様のご指導を賜りながら、委員会独自の活動及び吉田公民館共催の事業に取り組みました。

健康講座は4回シリーズで「腎臓のお話(8/23)」・「ずっと元気でい



9月30日 ホクト文化ホールにて

るための運動講習会(9/12・10/26)・「地域の旬の食材を使った健康食講習会(11/11)」を開催しました。

また、九月三十日には、ホクト文化会館で第三九回長野県保健補導員等研究大会が開催され、吉田地区から十二名参加いたしました。(全参加者一、三三六名・長野市三四四名)



9月12日 運動講習会

なお、三月十四日(水)には、東京大学の吉永淳准教授による「放射能と健康リスク」の講演会をノルテナがのにて午後六時三十分から開催する予定です。

### 教育・公民館部会

#### 人権・同和教育委員会

「吉田地区人権を認め合う住民の集い」十二月十六日(水)会場 吉田小学校

第十一回「吉田地区人権を認め合う住民の集い」は、授業参観と講演



わる、子どもの成長は大人のかかわる態度が大きな影響を与えると教えられました。

#### 育成委員会

12月

育成会では、十二月十八日にノルテナがの多目的ホールにて、「クリスマス会」を行いました。



恒例の魔法使いアキツトさん、おはなしのころ、コーラスグループの「ココ・ア・ポコ」さん達による、クリスマスソング等を、披露していただきました。

抽選会では、アキツトさんを交えて、子供達が、大変盛り上がりました。

区長部会

文化財案内マップ設置

部会の主な事業としてわかりやすい吉田町にするために、道路の案内標

識パネルを今回は、市の「地域やる気支援補助金」を活用し（申請中）六月に設置をします。これからも吉田の町を活気ある安心して歩ける「まちづくり」にしてまいります。

長野市吉田地区の文化財案内マップ

◆吉田地区文化財を解説した冊子を吉田地区住民自治協議会事務局で頒布(1冊300円)しております

吉田紀行

第6集

何丸翁顕彰保存会事務局長 徳永 清

平成第2号

◆何丸翁句碑・吉田田町公民館平成23年(2011)4月24日御協力をいただき公民館北側に何丸翁顕彰保存会が建立。



以川も吹く  
風越花尔者  
あらし哉  
何丸

何丸翁句碑

以川も吹く  
風越花尔者  
あらし哉  
何丸

◆この作品の花押(サイン)

何丸

寺歸

●七十六翁(おきな) 76歳の老人。

●何丸  
一元 茂呂 一元・本名  
歸 帰・おさまる。

●何丸77歳の天保8年(1837)に江戸で没す。よって、この句は前年の作品となる。

◆花(平安後期(1100年代)以降は桜の花。春を表現します。

●尔(爾)の俗字。

●哉(哉)だなあ。感動を表す。

◆変体仮名まじり、くずし字で大変難しいです。

●変体仮名(へんたいがな)平仮名(ひらがな)の、起源となった字源、漢字。

編集後記

今年の冬は厳しい寒さに見舞われた冬でした。「吉田住民自治協議会だより」も8号になりましたが、4号より「カラー」印刷に変更し皆様のご協力により無事発行することが出来ました。ありがとうございました。

(編集委員一同)